

注) この RCT は日本東洋医学会 EBM 委員会がその質を保証したものではありません

21. その他

文献

高山真, 沖津玲奈, 岩崎鋼, ほか. 大建中湯投与, 腹部温熱療法による上腸間膜動脈血流量の変化. 漢方と最新治療 2011; 20: 253-8. 医中誌 Web ID: 2011349495

1. 目的

大建中湯と腹部温熱療法の上腸間膜動脈血流量に及ぼす影響の評価

2. 研究デザイン

ランダム化比較試験 (RCT)

3. セッティング

実施施設に関する記載なし (著者は東北大学先進漢方治療医学講座など)

4. 参加者

心血管系疾患、消化器疾患のない健常ボランティア男性 43 名

5. 介入

Arm 1: ツムラ大建中湯エキス顆粒 5 g + 蒸留水 50 ml 群 14 名

Arm 2: 腹部温熱刺激群 15 名

Arm 3: 蒸留水 50 ml 群 14 名

6. 主なアウトカム評価項目

熱伝導制御装置による 20 分の温熱刺激開始時、大建中湯経口投与時、蒸留水経口投与时から、10 分毎に 50 分後までの上腸間膜動脈血流量変化を比較する。

7. 主な結果

Arm 1 と Arm 2 は Arm 3 に比較して有意に上腸間膜動脈血流量が増加した (いずれも $P < 0.01$)。Arm 1 と Arm 2 の間には有意差は認められなかった。

8. 結論

伝統医学における腹部を温める治療法は、局所の温熱刺激も大建中湯内服も上腸間膜動脈血流量増加という同様の生理学的側面を持つ。

9. 漢方的考察

なし

10. 論文中の安全性評価

記載なし

11. Abstractor のコメント

温補 (漢方医学的概念における身体を温めたり気を補うの意) という治療法と鍼灸における温熱刺激が共に上腸間膜動脈血流量の増加という側面を持つ事が客観的指標で示された事は意義深い。今回示された上腸間膜動脈血流量の増加が、いかなる意味を持っているかについて、今後の研究報告が待たれる。

12. Abstractor and date

中田英之 2013.12.31